

尼子駅前宅地造成事業計画 概算8億6400万円

- ・ 尼子駅西側の既存集落と隣接した位置に宅地を計画
- ・ 道路幅員6mを適切に配置
- ・ 公園及び調整池を工区毎に配置
- ・ 1区画200㎡以上の宅地を約100戸計画
312世帯×31.6%≒100戸



▲▼上・右の図表は
議会に提出された当
事業の説明資料

「ほんとうに大丈夫ですか？」

6日の一般質問で西澤議員は尼子駅前の宅地造成事業の計画概要（左記・事業費概算8億6400万円）が11月に発表されたことを受け次のように発言。「事業の進捗状況をはじめ、道理性、必要性、進め方などを関係住民だけではなく、広く説明会を開くことが重要ではないかと考えます。この事業計画については疑問や心配する声が続くとも聞かれる。（右に記載）これらの疑問に正面から答えるためにも、ぜひ、住民説明会を開催すべきだと考えます」と質問。

答弁に立った熊谷副町長は、事業の進捗に合わせ必要が生じた時点で検討する考えを表明する程度にとどまりました。

西澤議員は続けて、豊郷町でさえ、宅地開発すればドンドン売れたピークは過ぎたと

言われていること、庁舎改築を兼ねた防災センター構想、25億円超の負担金となる新ごみ処理施設計画、産業用地開発事業など大型事業が目白押しの中、町民の疑問・心配に応えるべきだと発言しました。

疑問・心配する町民の声

現在のところ、◆一気に100区画もの宅地造成を実行して、塩漬けになったらどうするのか◆売れる見通しが明るいようだったら、民間ディベロッパーがとっくに名乗りをあげているはずでないか◆農業振興や食料生産の確保が今後ますます重要になる中、600ha分の4haとは言え、決してわずかな面積ではない、考え直す必要があるのでは＝などです。

・ 工区毎に造成工事、宅地販売を行い、約5年で事業完了を目指す。

	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)	令和11年度 以降
都市計画マスタープラン ・ 国土利用計画改定	改定済					
地元協議		地域のまわづくり、用地買収等（工区別）				
農振除外手続き		農振除外手続き（工区別）				
第1工区		開発計画	工事	宅地販売		
第2工区			開発計画	工事	宅地販売	
第3工区				開発計画	工事	宅地販売

住民合意と説明会の開催を

甲良民報

2024年12月8日 937号（補強版）
発行責任：日本共産党甲良町支部
連絡：甲良町在土373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談、感想もどうぞ！ 西澤伸明 38-4949

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】